

1. スタートアイコンの「Windows セキュリティ」をクリックします。

2. 「セキュリティの概要画面」から「ウィルスの脅威と防止」をクリックします。



3. 「ウィルスの脅威と防止の設定」項目の「設定の管理」をクリックします。



4. 「ウィルスの脅威と防止の設定」画面の「リアルタイム保護」のスイッチを「オフ」にします。



5. 「リアルタイム保護」のスイッチが「オフ」になっているのを確認してから画面を閉じます。

Windows	Windows セキュリティ		×
\leftarrow	🌤 ウイルスと脅威の防止の設定		
=	Windows Defender ウイルス対策のウイルスと脅威の防止の設定を表示し、更新し		
ெ	ます。		
	リマルタイム保護		
8	マルウェアを特定し、デバイスでインストールまたは実行されないようにします。この設定		
(q))	をしばらくオフにすると、自動的にオンに戻ります。		
	⊗ リアルタイム保護がオフになっており、お使いのデバイスは脆弱な状態です。		
旦	€ #7		
Ş			
&	クラウド提供の保護		
	クラウド上の最新の保護データにアクセスして、より強固で迅速な保護を実現します。 サンプルの自動送信をオンにしている場合、効果的です。		
	オン		
	サンプルの自動送信		
ø	潜在的な脅威から自分と他のユーザーを保護するために、Microsoft にサンブル ファ イルを送信します。Microsoft が必要とするファイルに個人情報が含まれている可能		

6. この状態は、現在の PC が起動している間は維持されます。元に戻す場合は「リアルタイム保護」を オンに切り替えてください。もし、切り替えない場合は、次回の PC 起動時に「オン」状態に復帰し ます。